

# ○津山工業高等専門学校国際交流・地域貢献

## 実施規程

〔平成 28 年 10 月 26 日〕  
規 程 第 26 号

(趣旨)

**第 1 条** この規程は、津山工業高等専門学校の教育課程に基づく「国際交流及び地域貢献」(以下「交流・貢献」という。)に関し、必要な事項を定めるものとする。

(目的)

**第 2 条** 国際交流または地域社会交流を、主体的に計画しそれを実施することにより、諸外国等の現状及び地域について体験的に考え、さらに今後一人の人間として社会的に生きるとは何かということについて深く学習することを目的とする。

(交流・貢献実施機関)

**第 3 条** 交流・貢献は、校長が指定する交流・貢献機関において行うものとする。

(交流・貢献実施時期)

**第 4 条** 交流・貢献の実施時期は、原則として校長が適切と認めた時期に行うこととする。

(履修手続)

**第 5 条** 交流・貢献を履修しようとする学生(以下「交流・貢献生」という。)は、交流・貢献を履修しようとする年度の前年度の適切な時期までに担当教員を決定し、担当教員に交流・貢献計画書(別紙様式 1)を提出し、交流・貢献を実施することの了解をとらなければならない。その後、所定の期日までに交流・貢献履修願(別紙様式 2)等必要書類を校長に提出しなければならない。

2 校長は、前項の書類に基づき、関係交流・貢献機関へ依頼するものとする。

(経費)

**第 6 条** 交流・貢献に要する経費は、原則として交流・貢献生の負担とする。

(交流・貢献責任者及び担当教員)

**第 7 条** 交流・貢献責任者は、国際交流については国際交流委員長、地域貢献に

については地域共同テクノセンター長とし、担当教員は本校教員とする。

2 担当教員は、交流・貢献生の提出した計画書をもとに、そのシラバスを作成しなければならない。

3 交流・貢献責任者及び担当教員は、交流・貢献機関の把握等を行うものとする。

(報告)

**第 8 条** 校長は、交流・貢献実施証明書(国際交流は別紙様式 3 - 1、地域貢献は別紙様式 3 - 2)の提出を交流・貢献機関へ依頼するものとする。

2 交流・貢献を履修した学生は、交流・貢献終了後、所定の期日までに交流・貢献報告書(別紙様式 4)を、担当教員を経て、交流・貢献責任者に提出しなければならない。

(評価及び単位の認定)

**第 9 条** 交流・貢献責任者は、次により交流・貢献の成果を評価し、それに基づき、教務委員会で単位の認定を行うものとする。

(1) 交流・貢献の単位を 1 単位とする。

(2) 交流・貢献の単位は、履修 1 日は 8 時間を上限として定め、30 時間以上をもって単位とする。

(3) 交流・貢献の評価は、第 5 条に規定する交流・貢献計画書、第 8 条に規定する交流・貢献実施証明書及び交流・貢献報告書に基づき 100 点法で行うものとする。

(4) 単位の認定は教務委員会において行うこととする。交流・貢献生は、交流・貢献単位認定願(別紙様式 5)を提出し、単位認定の申請を行うこととする。

(守秘義務)

**第 10 条** 交流・貢献生は、交流・貢献において知り得た当該機関に係る秘密を漏らしてはならない。本校卒業後においても同様とする。

(交流・貢献中の災害等)

**第 11 条** 交流・貢献中に災害などの事故があった場合は、校長は速やかに必要な措置を講ずるものとする。

(保険)

**第 12 条** 交流・貢献生は、交流・貢献に当たり傷害保険及び賠償責任保険に加入するものとする。

(雑則)

**第 13 条** この規程に定めるもののほか，交流・貢献に関し必要な事項は，別に定める。

（事務）

**第 14 条** 交流・貢献に関する事務は，学生課教務係において処理する。

**附 則**

この規程は，平成 28 年 10 月 26 日から施行する。

(別紙様式1)

交流責任者 (国際交流委員長) (地域共同テクノセンター運営委員長)	担当教員	学級担任

## 国際交流・地域貢献計画書

平成 年 月 日

津山工業高等専門学校長 殿

系 年 番

氏 名

下記のとおり、計画しましたので提出します。

記

科 目 名	・国際交流      ・地域貢献
機 関 名	
期 間	平成 年 月 日 ～ 平成 年 月 日 ( 時間)
担 当 教 員	
計 画 (動機や目的、スケジュールなどを具体的に記入する。記入欄が不足する場合は別紙を付けてもよい)	
そ の 他	

(別紙様式2)

交流責任者 (国際交流委員長) (地域共同テクノセンター運営委員長)	担当教員	学級担任

## 国際交流・地域貢献履修願

平成 年 月 日

津山工業高等専門学校長 殿

系 年 番

氏 名

下記のとおり、履修を行いたいので、御許可くださるようお願いいたします。

記

科 目 名	・国際交流	・地域貢献
機 関 名		
期 間	平成 年 月 日 ～ 平成 年 月 日 ( 時間)	
担 当 教 員		
そ の 他		

# *Certificate of Completion*

This is to certify that

---

(student name)

has successfully completed the curriculum /  
requirements

at \_\_\_\_\_  
(school name / organization name)

From \_\_\_\_\_ to \_\_\_\_\_  
(yy/mm/dd) (yy/mm/dd)

Total number of school / program days \_\_\_\_\_  
(days)

Total number of days present \_\_\_\_\_  
(days)

---

*Director*

---

*Date*

# 地域貢献証明書

平成 年 月 日

津山工業高等専門学校長 殿

住 所

機関名等

代 表 者

下記のとおり、当機関において、地域貢献を行ったことを証明します。

## 記

学 校 名	津山工業高等専門学校		系 第	学 年
授 業 科 目	・地域貢献			
氏 名				
期 間	平成 年 月 日 ～ 平成 年 月 日 ( 時間)			
内 容				
講 評	評 価	<input type="checkbox"/> 優れている <input type="checkbox"/> 良好 <input type="checkbox"/> 普通 <input type="checkbox"/> やや劣る <input type="checkbox"/> 劣る		
	貢 献 に対する総合所見			
	出席状況	出席 日	欠席 日	遅刻 日
そ の 他				

(別紙様式4)

交流責任者 (国際交流委員長) (地域共同テクノセンター運営委員長)	担当教員	学級担任

## 国際交流・地域貢献報告書

平成 年 月 日

津山工業高等専門学校長 殿

系 年 番

氏 名

下記のとおり，交流を行ってきましたので報告いたします。

### 記

科 目 名	・国際交流                      ・地域貢献
機 関 名	
期 間	平成 年 月 日 ～ 平成 年 月 日 ( 時間)
担 当 教 員	
内 容 (当初の計画どおり実施できたか，参考になったことなどを具体的に記入する。記入欄が不足する場合は別紙を付けてもよい)	
そ の 他	

※単位認定に必要と認めるときは，本報告書とは別の報告書等の提出を求めることがある。その場合は，指示に従うこと。



(別紙様式5)

交流責任者 (国際交流委員長) (地域共同テクノセンター運営委員長)	担当教員	学級担任

## 国際交流・地域貢献単位認定願

平成 年 月 日

津山工業高等専門学校長 殿

系 年 番

氏 名

下記のとおり、履修しその成果が得られましたので、単位の認定をお願いいたします。

記

科 目 名	・国際交流          ・地域貢献
単 位 数	単位
機 関 名	
期 間	平成 年 月 日 ～ 平成 年 月 日 ( 時間)
担 当 教 員	
そ の 他	